

関東最大のブナの森 雪上ハイキング
玉原高原スノーハイイク&スキー

実施日 2018年3月4日(日)～5日(月)
天候 4日 快晴/5日 曇り一時小雨
リーダー 伊藤 久雄
参加者 若村勝昭、若村貴世子、石附智江、白石恵美子、山崎富美恵、中村友子、渋谷賢寿、渋谷京子、伊藤久雄、石原勝正、徳山敬子、白石佐恵 計12名
費用 JR10,780円(東京起算) 3,890円
リフト500円 食材費500円
宿泊費8,500円 合計24,170円
タイム 4日 上毛高原駅(9:10~9:50) つつみ・すくえあ(11:10~11:20) 第二リフト終点(11:50)鹿俣山(11:50~13:40昼食)つつみ・すくえあ(16:30)
5日 つつみ・すくえあ(9:00~9:40)第二リフト(10:30)銅金沢(11:00)ブナ平(11:30~11:50)玉原湿原(13:00~13:30)レストハウス(14:00)つつみ・すくえあ

4日 上毛高原駅から3台に分乗し、つつみ・すくえあまで行きそこでスノーシューに履き替え、早速鹿俣山に向かって出発する。10分程歩き第二リフトに乗り終点でスノーシューに履き替える。アップダウンを繰り返しながら徐々に高度を上げていき30分ほどで最後の急坂を上ると頂上



だ。正面遠方に赤城山、谷川連峰、妙義山、玉原湖、皇海山、すぐ左には武尊山、剣ヶ峰山等の雪をまとった峰々の眺望が

晴らしい。ここで昼食にする。女性陣はキムチ鍋の用意を、男性たちはスコップでテーブルとイスの準備をする。30分ほどで用意ができ雲一つない真

っ青な青空、風もなく気温12度(2,3日前には雪が降った)素晴らしい借景のもと、鹿俣山山頂で貸し切りの宴会だ。



12人前の高い野菜、2キロの肉もあっという間に平らげ残りのスープでおじやを作りそれもあっという間に食べつくす。お腹がいっぱいになり名残惜しいが下山を開始する、が、トレース跡がはつきりしなるとか無事に下山す



る事が出来た。5日 2名はスキーにあと2名は急用で帰り、残り8名でペンションのご主人の案内でブナ平方面のガイドを



お願いした。お天気が不安定で午後には雨の予報なので降られたら早めに切り上げるという予定で出発をする。昨日と同じく第二リフトまで行き其処からブナ林に入っていく。小さな尾根や沢を横断しながら暫く行くと銅金沢に着きそこを横切りやや急斜面を下っていくとなだらかなブナ平の原生林に出る。時折小雨がパラパラと降ったり薄日が出たりの中、さらに玉原湖方面に向かって尾根を下っていくと玉原湿原に出る。

本来ならば丁度お昼時だがお天気が心配なので15分程テイタイムを取り、早々に東方向に向かって1時間ほどアップダウンを繰り返すよう出発点の第二リフトにたどり着く。

着いたとたん雨が降ってきてギリギリ間に合った。近くのレストハウスでカレーラーメンやミソラーメンを食べ体が温まった所でペンションに戻った。

動物の足跡、熊棚、ヤドリギ、クリスマスにまつわるお話し、うだつの話、ブナに寄生する珍しい植物の話、ブナ、朴ノ木、ミズナラなど木や蔦に関する豊富な知識、ブナの植林の苦労話などダジャレを交えた解説を聞きながらの楽しいスノーシューでした。

急遽引き受けたCLで至らないところが有りましたと思えますが皆さんの協力と好天にも恵まれ無事楽しいスノーシューが出来ました。有難うございました。(記&写真・伊藤 久雄)